

sybondgirl (フォロワー: 14万4400人)

Jessicamichibata (フォロワー: 20万2000人)

モデルデビューして以来、数多くのファッション雑誌で表紙を飾る。テレビ「スタイル」(マガジンハウス)など書著も多数。モデル業に留まらず、デザインには映画「シャンティ・デイズ」で初出演を果たした

コスメやライフスタイルでモデルと早坂香須子メイクそれが国内外で得た情報をアップを行っている。気になるコスメからフードコスメ業界が注目する2

を持ったきっかけは。アーティスト(以下、早坂):。20代の頃から自ら食事療法セラピーについて学んだりという概念は意識せずともが、芸芸大学に住んでいたと「モニー」という店との出会自然栽培の野菜や果物、米をここで売っているものが本当にエネルギー、そのパワーを感じました。うちは人がよで食べている野菜について、私が本当に楽しかったし、みゆあと、逗子に引っ越したのばで、食材の生産者の存在交流が、勉強にもなり、大きなのが、今の私を取り巻く環境って、オーガニックにとって、私の周りの20代の若い人たちが高いし、生産者同士も強を見てみると「日本の未来もオーガニックって、生活そのものうことが、オーガニックライ

道端ジェシカ・モデル(以下、ジェシカ):私は福井の田舎で、自然に囲まれて育ちました。母が食生活には厳しかったので、冷凍食品や加工食品は摂りませんでしたし、電子レンジもない家でした。今思えば、そんなオーガニックなライフスタイルで育ったことに感謝しています。コスメに関して言えば、モデルという職業柄、周りの人からいろいろと教えてもらえるし、私自身も化粧品が大好き。でも、実を言うと、オーガニックコスメの扉はなかなか開くことができなかつたんです。と言うのも、オーガニックコスメって肌の弱い人が使うもの、機能性はあまり期待できないもの……そんな先入観がありました。それがあつた時、撮影の仕事でメイクをしてくれた早坂さんが、あるフランスのオーガニックブランドのクリームを使っていて、その即効力に本当に驚いたんです。「ナチュラルなものは肌を潤すし、浸透力も高いのよ」と教えてもらってから、私のオーガニックコスメの扉は開いたんです。

早坂:それからのジェシカの吸収力はすごかった(笑)!!たくさん勉強もして、海外でもたくさん情報を収集している。「自分が使いたいものを使う、使いたくないものは使わない」、私はそんなシンプルなスタンスで良いと思います。オーガニックコスメの一番の良さって、やはり香り。モデルにメイクしている時って、本人は目を閉じていることが多いですよ。だから何を使っているか見えないのですが、オーガニックコスメを使っていると、その香りの良さに気づき「これは何?」とよく聞かれます。香りはダイレクトに脳に届くから、反応も早い。ジェシカの場合もそうでした。もちろんオーガニックコスメの良さは、よく知っていますが、私はオーガニックコスメ信奉者ではありません。仕事のときも、オーガニックコスメとそれ以外をミックスして使っています。そのためにも、正しい知識が必要なんですけどね。

BLOG: <http://blogs.elle.co.jp/hayasaka/> (エル・オンライン)

INSTAGRAM: @kazukovalentine (フォロワー: 4万6400人)

PROFILE: 看護師として大学病院に勤務した後、メイクアシスタントを経て独立。国内外のモデルや女優から支持される。アロマとオーガニック好きが高じて2013年AEAJ公認アロマセラピーインストラクターの資格を習得。トーンアップやオーガニックプロダクトコンサルタントなど、インナービューティに関する活動の場を広げている。W所属

“コスメも食も生産者から影響 これからは地産地消の時代に”

WWD: これまでに自身のオーガニックライフに影響を受けた人はいますか?

ジェシカ: 早坂さんはもちろんのこと、メイクアップアーティストのMICHIRUさん、サンルイ・インターナショナルの森田敦子・社長、PR業のラキヤルプの新井ミホさんなど、たくさんの方に教えてもらいました。「rms beauty(アールエムエスビューティ)」の創設者であるローズ・マリー・スウィフトさんにも大いに刺激を受けましたね。彼女との出会いは本当に偶然。ニューヨークでミランダ・カーさんと撮影する仕事があつて、早坂さんも一緒だったんです。メイクルームで「『アールエムエスビューティ』って気になるよね」なんて話をしていたら、現地のスタッフが「『アールエムエスビューティ』の創設者は、今、隣の部屋でミランダにメイクしている彼女だよ。紹介するよ」と。本当に驚きました。翌日、すぐに自宅に招待して下さつて、交流が始まったんです。彼女は、非加熱のココナッツオイルを使用するなど、とてもこだわりのある製品作りをしていて、独自の信念を持っている人です。

早坂: 私は最近、海外のオーガニックコスメの生産者を訪ね、話を直接聞くことをライフワークにしています。食の生産者やオーガニックコットンブランドのデザイナーたちとの交流も同じこと。食もプロダクトもオーガニックライフスタイルのひとつ。私はどちらも、生産者から刺激を受けることが多いですね。そして、これからはどちらも“地産地消”の時代になっていくといいなと思います。

WWD: コスメブランドとのコラボレーションの経緯を教えてください。

早坂: 2月に初のコラボレーションである「シゲタ」の

JESSICA'S Profiles

グラムなどで紹介



に高めるなど、その影響力は量り

プロデュース

「MiMC」とのコラボ新製品 “balancing保湿”化粧水

「MiMC」とのコラボレーション商品「ビューティビオファイター ハビネス」が5月27日に発売された。コンセプトは、幸せに満たされるスキンケアタイム。「化粧水は毎日使うものだから、香りや肌に触れたときの心地良さは大切。1日頑張った自分を癒してくれるような、リラックス効果の高いゼラニウムやダマスクローズの香りを選んだ。はじめサラッと、でもしっかり保湿される不思議な感覚のテクスチャーも他にはなくて、とても気に入っている」。ビューティビオファイターハビネス(155mL) 6500円



注目コスメ

自ら引き寄せた!? NYでのrms創設者との出会い

NYでのフォトシューティングで偶然に出会い、交流が始まった「アールエムエスビューティ」の創設者、ローズ・マリー・スウィフト。数々の有名誌、ブランド、セレブリティを担当するメイクアップアーティストだ。長期的美容として良質な成分が必要であるとの考えから、オーガニックメイクアップブランドを自ら設立。「肌に潤いを与え、美しく輝かせる体に本当に良いもの」をコンセプトに、成分に徹底的なこだわりを持って製品開発している。